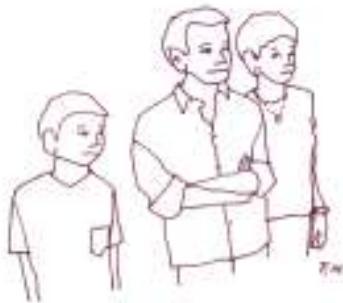


Q

中学2年の長男が当たり構わぬ八つ当たりすると、親も感情的に叱ってしまいます。どう接したらいいですか。

A

親もかつて通った道です。深刻にならないよう大らかに構えて、夫婦でよく連携すればいいでしょう。



子供と適切な距離を

離をとり、自分の行動に責任をとるようにさせましょう。

中学生は心身ともに急激な成長期にあり、男性として女性としての自分を受け入れることが課題になります。ホルモンのバランスが崩れて不安定になり、制御不可能になりやすいのです。

子供も自分が無理を言っているとか、家族に当たっているとか、わかっています。

背後の気持ちに気づいて

親の「不要な」一言が、親子関係を複雑にし、反抗期を長引かせることがあります。大人の余裕で聞き流しましょう。どうしても言わなくてはいけないときは、手短に話すことです。

脱いだ服を散らかしていくも、洗濯かごに入れれば済みます。子供が自分の落ち度でうまくいかないことがあっても、親がやさしくもきして注意したりする必要はありません。子供と適切な距

第2の誕生の時期で、子供の行動だけを見て判断するのではなく、背後にある気持ちに気づいてあげたいものです。

息子が荒れると、母親だけではうるたえてしまいます。こんなときは夫婦の連携が大切です。男同士で向き合うのは難しくても、肩を並べて山歩きや作業などを一緒にすると、気持ちが通じやすくなります。父親の支えがあれば、母親も子供をやさしく包んであげやすくなります。

親もかつては体験してきたことなので、あまり深刻になり過ぎずに、大らかに構えるのがいいでしょう。